

**会津総合開発協議会**  
**設立 50 周年記念事業 報告書**



日時 平成 25 年 10 月 21 日(月)  
場所 会津若松ワシントンホテル

---

# 会津総合開発協議会設立 50 周年記念事業

## プログラム

---

日 時 : 平成 25 年 10 月 21 日 (月)  
午後 2 時 30 分～午後 6 時 30 分  
場 所 : 会津若松ワシントンホテル (会津若松市)

### ◆設立 50 周年記念会津を拓く講演会 (午後 2 時 30 分～3 時 45 分)

＜会津方部商工観光団体協議会との共催＞

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
- 3 講師紹介
- 4 講演 演 題：「地域経済の発展に向けて」  
講 師：経済産業省東北経済産業局長 守本 憲弘 氏
- 5 閉会

### ◆設立 50 周年記念式典 (午後 4 時～5 時)

- 1 開式の辞
- 2 式辞
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 感謝状贈呈
- 6 写真で見る 50 年のあゆみ (スライドショー)
- 7 閉式の辞

### ◆設立 50 周年記念祝賀会 (午後 5 時～6 時 30 分)

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 来賓あいさつ
- 4 乾杯
- 5 中締め

## ■■■記念講演会 ■主催者あいさつ

会津総合開発協議会 会長 会津若松市長 室井 照平

会津総合開発協議会は、設立以来、会津地方の総合的な開発振興を目的として、地域要望の実現のための陳情活動を基本とした各種事業を実施してまいりました。

本日開催いたします「会津を拓く講演会」は、昭和44年から実施している当協議会の恒例事業であり、政府高官や専門機関のエキスパートを講師にお招きし、情報の収集と会員の研鑽による会津地域の開発促進と課題解決を目的として、毎年、時勢に応じた講演をお願いしているものです。

さて、みなさまご案内のとおり、会津総合開発協議会は、昭和38年7月に発足し、以来本年で設立50周年を迎えることになりました。

この記念すべき年を迎えるにあたり、本日の「会津を拓く講演会」は、50周年記念講演と位置づけて開催させていただくものです。

本日は、記念講演にふさわしい講師として、経済産業省東北経済産業局長の守本憲弘(もりもと かずひろ)様に、ご講演をお願いいたしております。守本様には、公務ご多用にもかかわらず、快く講師をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。心より、御礼を申し上げます。

今日の会津地域の経済は、少子化、過疎化の進行による地域活力の衰退に加え、東日本大震災による風評被害の影響により大きな痛手を受けており、風評払拭と地域復興の実現のためにも、疲弊した経済の回復と活性化が課題となっております。

特に、加速する人口減少に歯止めをかけるためにも、雇用創出に結びつく力強い経済振興策が必要であり、当地方としても、国の経済政策を追い風とした1日も早い経済復興を成すため、積極的な取り組みが求められるところです。

本日の「会津を拓く講演会」では国の経済振興策の流れなどをお示しいただきながら、今後、会津地域としての経済の回復・発展に向けて、どのように取り組んでいくべきかなど、地域経済発展に向けたご講演をいただくものであり、当地方の復興と再生、地域経済のさらなる振興を図る上で、大いに参考になる講演となるものと存じております。

最後になりますが、ご来場の皆さまにおかれましては、本記念講演をひとつの契機とされ、今後とも「会津はひとつ」の理念に基づき、全会津の総合的な開発・振興のため、更なるご尽力を賜りますようお願いを申しあげ、あいさつとさせていただきます。

平成25年10月21日



## ■■■記念講演会 ■講師



### 会津地域経済の発展に向けて

経済産業省 東北経済産業局長  
守本 憲弘 氏

#### 《主な経歴》

昭和 59 年 3 月 東京大学法学部卒業、 同年 4 月 通商産業省入省。  
平成 11 年 外務省経済協力開発機構日本政府代表部一等書記官・参事官。  
平成 14 年 通商政策局中東アフリカ室長。  
平成 16 年 資源エネルギー庁電力・ガス事業部ガス市場整備課長。  
平成 18 年 経済産業政策局参事官（産業人材政策担当）。  
平成 23 年 4 月 大臣官房参事官（エネルギー担当）。  
平成 24 年 10 月 中小企業庁経営支援部長。  
平成 25 年 6 月より、東北経済産業局長に就任し、現在に至る。

## ■講演会の様子



## ■□■記念式典 ■式辞

会津総合開発協議会 会長 会津若松市長 室井 照平

本日ここに、会津総合開発協議会設立 50 周年記念式典を挙げるにあたり、主催者を代表し、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、福島県知事、国会議員の皆様をはじめとする多くのご来賓のご臨席を賜り、また、これまで会津地方の発展と振興、住民福祉の向上に献身的にご尽力を賜りました前衆議院議員 渡部恒三 様のご臨席のもとに、記念式典がかくも盛大に挙行できますことは、私ども協議会 会員にとりまして意義深く、この上ない喜びとするところであります。本日、本協議会が記念すべき 50 周年を迎えることができましたのも、ご臨席の皆様方の格別なるご支援、ご協力の賜物であります。ここに改めて、心より感謝申し上げます。

さて、今から半世紀前に遡りますと、会津地方は県土の約 40%という広大な面積を有しながらも、これまで、道路交通網をはじめとする社会生活基盤や教育基盤の整備が比較的遅れ、また、市町村の努力ばかりでは如何ともしがたい課題があり、更なる発展のための歩みは遅々として進まず、という状況下に置かれて参りました。

このような状況を打破し、誇りうる郷土会津の輝ける明日を拓くため、「会津はひとつ」の理念のもと、昭和 38 年、全会津の 28 市町村が集結し、会津総合開発協議会が結成されたのであります。以来、今日までの 50 年間、郷土愛と地域開発へのあふれる情熱、そして、各市町村の強固な結束力を糧として、郷土の発展を願い活動して参りました。この間、多くの方々からの温かいご支援、ご指導をいただき、多くの成果を实らせてきたところであります。

その足跡を振り返りますと、昭和 40 年代においては国道 49 号の全面舗装完工や国道 252 号の全線開通などの道路交通網の整備、更には、会津平坦部における国営農業基盤整備事業の促進や雄国山麓開拓建設事業所開設など農業生産基盤の拡充に大きな成果を見たところであります。昭和 50 年代においては、大規模林道飯豊檜枝岐線や国道 121 号大峠道路の着工、山王トンネル、国道 289 号駒止トンネル開通、そして、東北横断自動車道整備計画決定など、開かれた会津に向けて、礎となる事業が進展いたしました。昭和 60 年代には、多目的ダムである大川ダムの竣工、第三セクター会津鉄道や野岩鉄道の開業、会津フレッシュリゾート構想の推進など、会津の新しい時代の幕開けを予感させる大きな事業が展開され、そして、平成を迎えては、国道 115 号土湯峠、国道 49 号中山峠、国道 252 号川口トンネル、国道 400 号舟鼻トンネル、国道 121 号大峠トンネル、国道 401 号松坂トンネルが相次いで開通、更には、会津線の電化開業、待望の磐越自動車道の全線開通、新鶴スマートインターチェンジの供用開始、甲子道路の開通、会津縦貫北道路の一部供用開始、加えて、会津ナンバーの新設、そして、会津百年の悲願であった四年制大学が県立の会津大学として開学を迎えるなど、会津の新時代を告げる事業が相次いで実現いたしました。そして、今日の会津地方を概観すれば、交通の難所と言われた峠のトンネル化や磐越自動車道の開通などによる高速交通時代の到来は、観光地へのアクセスの利便性の向上や近隣観光地との新たな周遊観光地の構築など、観光振興の重要な役割を果たすことはもとより、会津地方と他の地域を結ぶ新たな物流経路としても極めて重要な役割を担うものであります。

また、会津フレッシュリゾート構想の進展による新たな観光資源の創出、会津西北部地域活性化対策事業や「歳時記の郷・奥会津」活性化事業の推進などの地域の特性を活かした開発の進展、更には、世界への情報発信源となる会津大学の開学などにより、地域のポテンシャルは飛躍的な高まりを見せており、今まさに、会津は輝ける未来へ向けた、新たな展開を自ら切り拓いていこうとしております。



しかしながら、一昨年の東日本大震災により、状況は一転することとなり、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏えい事故による風評被害の影響は大きく、教育旅行をはじめとする観光業や農業、さらには商工業に至る多くの産業に甚大な損害を及ぼし、地域経済は依然として厳しい状況にあります。加えて、一昨年の新潟・福島豪雨災害により、河川の氾濫、土砂災害、さらには、多くの住宅、農地、道路等が損壊し、J R 只見線においては、3つの橋りょうが流失するなど、まさに未曾有の大災害となり、只見線の一部区間の不通は、住民生活に大きな影響を及ぼしており、会津地方の最重点課題であります。このような困難な状況のもと、復興と再生に向け加速し、住民の安全・安心な生活を守り、将来に向けて、災害に強い生活基盤、産業基盤づくりを進めていかなければなりません。会津を故郷とする私たちに課せられた使命は、会津地方が福島復興を牽引するという強い信念と、先人が営々として築かれたこの誇りある故郷を守り、子どもたちへ伝え、そして、未来へ向け、より豊かな郷土として、育てていくことであります。

今回の記念すべき設立 50 周年記念を次へのステップと位置づけ、会津の開発促進、そして豊かな会津の実現のため、会津地方一丸となって、全力を傾注して参ることをお誓い申し上げるものであります。どうか、ご臨席の皆様方におかれましては、何卒、会津に対する一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、会津地方の発展と、本日ご臨席賜りました皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成 25 年 10 月 21 日

## ■□■記念式典 ■ご来賓ならびにご臨席の皆様

(前顧問)

前衆議院議員            渡部 恒三 様

(顧問)

衆議院議員            菅家 一郎 様

衆議院議員            小熊 慎司 様

衆議院議員            亀岡 偉民 様

衆議院議員            坂本 剛二 様

衆議院議員            菅野 さちこ 様

衆議院議員            吉田 泉 様

参議院議員            岩城 光英 様

参議院議員            増子 輝彦 様

参議院議員            荒井 広幸 様

参議院議員            森 まさこ 様

参議院議員            若松 謙維 様

福島県知事            佐藤 雄平 様

福島県議会副議長    斎藤 勝利 様

福島県議会議員      瓜生 信一郎 様

福島県議会議員      小桧山 善継 様

福島県議会議員      遠藤 忠一 様

福島県議会議員      平出 孝朗 様

福島県議会議員      杉山 純一 様

福島県議会議員      宮下 雅志 様

福島県議会議員      水野 さちこ 様

福島県議会議員      小林 昭一 様

(参与)

|                |          |
|----------------|----------|
| 福島県会津地方振興局長    | 石井 浩 様   |
| 福島県南会津地方振興局長   | 佐藤 正史 様  |
| 福島県会津保健福祉事務所長  | 西田 茂樹 様  |
| 福島県南会津保健福祉事務所長 | 近内 保二 様  |
| 福島県会津農林事務所長    | 戸井田 和 様  |
| 福島県南会津農林事務所長   | 稲本 太一郎 様 |
| 福島県会津若松建設事務所長  | 室井 良文 様  |
| 福島県喜多方建設事務所長   | 芳賀 英次 様  |
| 福島県南会津建設事務所長   | 高橋 直正 様  |

(会員)

|        |        |
|--------|--------|
| 会津若松市長 | 室井 照平  |
| 喜多方市長  | 山口 信也  |
| 下郷町長   | 星 學    |
| 檜枝岐村長  | 星 光祥   |
| 只見町長   | 目黒 吉久  |
| 磐梯町長   | 五十嵐 源市 |
| 猪苗代町長  | 前後 公   |
| 北塩原村長  | 小椋 敏一  |
| 西会津町長  | 伊藤 勝   |
| 会津坂下町長 | 齋藤 文英  |
| 湯川村長   | 大塚 節雄  |
| 柳津町長   | 井関 庄一  |
| 三島町長   | 二瓶 隆司  |
| 金山町長   | 長谷川 律夫 |
| 昭和村長   | 馬場 孝允  |
| 会津美里町長 | 渡部 英敏  |
| 南会津町長  | 大宅 宗吉  |

(記念講演会講師)

|               |         |
|---------------|---------|
| 経済産業省東北経済産業局長 | 守本 憲弘 様 |
|---------------|---------|

(関係団体等)

|                |          |
|----------------|----------|
| 前会津若松市長        | 早川 廣中 様  |
| 会津方部商工観光団体協議会長 | 宮森 泰弘 様  |
| 会津鉄道株式会社       | 大石 直 様   |
| 野岩鉄道株式会社       | 五十嵐 哲男 様 |
| 復興庁福島復興局参事官    | 渡辺 孝司 様  |

|           |        |
|-----------|--------|
| 会津若松市議会議長 | 戸川 稔朗  |
| 喜多方市議会議長  | 齋藤 仁一  |
| 下郷町議会議長   | 佐藤 孔一  |
| 檜枝岐村議会議長  | 星 哲二   |
| 只見町議会議長   | 齋藤 邦夫  |
| 磐梯町議会議長   | 穴澤 保   |
| 猪苗代町議会議長  | 鈴木 武喜  |
| 北塩原村議会議長  | 小椋 眞   |
| 西会津町議会議長  | 武藤 道廣  |
| 会津坂下町議会議長 | 齋藤 善平  |
| 湯川村議会議長   | 小林 孝一  |
| 柳津町議会議長   | 田崎 為浩  |
| 三島町議会議長   | 小柴 修一  |
| 金山町議会議長   | 長谷川 盛雄 |
| 昭和村議会議長   | 渡部 長治  |
| 会津美里町議会議長 | 鈴木 巖   |
| 南会津町議会議長  | 芳賀沼 順一 |



## ■□■記念式典 ■感謝状贈呈

### 議員生活と共に会津地方の振興と発展に向けてご尽力されました

前衆議院議員    **渡部   恒三   様**

会津総合開発協議会設立 50 周年という記念すべき時を迎えるあたり、当協議会が、長年にわたりご指導賜りました前衆議院議員渡部恒三様に感謝状を贈呈いたしました。

渡部様のご経歴につきまして、ご紹介させていただきます。

昭和 34 年、26 歳で県会議員に当選され、県会議員 2 期を経て、昭和 44 年の衆議院総選挙に初当選以来、通算で 14 回連続、国会議員としてご活躍されました。

その間、通商産業政務次官、文部政務次官、衆議院商工委員長を歴任、昭和 58 年、厚生大臣・年金問題担当として初入閣以来、自治大臣・国家公安委員長、通商産業大臣に就任されるなど、主要閣僚として国政発展のためご尽力なされました。

平成 8 年には衆議院副議長に就任されるなど、国会の舵取り役として、その手腕を遺憾なく発揮され、平成 15 年には、その功績が認められ、勲一等旭日大綬章を受章されております。

昨年、平成 24 年に引退されるまでの、53 年にわたる長い議員活動のなか、会津総合開発協議会の顧問として、半世紀にわたり当協議会活動にご指導ご支援を賜りました。

ふるさと会津の発展のために注がれた情熱は衆目の一致するところであり、そのご功績は、磐越自動車道の建設、地域高規格道路の整備、県立会津大学の創設、サンピア会津の誘致など、枚挙に暇がなく、特に、通商産業大臣時代の平成 4 年には、裏磐梯の北塩原において、本県で初めて本格的な国際会議、「四極通商サミット」を開催、議長役として、ウルグアイ・ラウンドの早期決着のため尽力される一方、観光会津を全世界へ発信する等、多くの成果を残されました。

国政はもとより、地元会津の発展のためにご尽力されました渡部様に対し、感謝状を贈呈し御礼を申し上げます。



## ■□■記念式典 ■スライドショー・記念誌

### ■スライド

会津総合開発協議会は、昭和 38 年に設立以来、全会津市町村が一丸となり会津地域発展のための活動が続けてまいりました。この半世紀の会津地域の開発と発展の歴史をスライドショーにより振り返りました。

◇動画（フラッシュ形式） ※トップページからご覧いただけます。

### ■50 年のあゆみ

会津総合開発協議会の 50 年の歴史と「50 年のあゆみ」として記念誌を発行いたしました。

◇記念誌（PDF 形式） ※トップページからご覧いただけます。